

# あじさいネット

## OFF LINE 通信

2023.1  
Vol. 45

Regional Health Information Network



©Nagasaki Prefecture Convention and Tourism Association

グラバー園 三浦環広場イルミネーション（長崎市）

年頭所感	「あじさいネット継続には、若い世代の力が必要」 あじさいネット会長 森崎 正幸 先生	p.2
特集	オンライン診療	
特集	情報提供病院 井上病院 吉嶺 裕之 先生 平川 久美子 氏	p.3 p.4
お役立ち	情報提供病院 連絡先一覧	p.5-6
特集	情報提供病院 長崎大学病院 三浦 生子 先生	p.7
特集	KEY PERSON 株式会社インテグリティ・ヘルスケア 武藤 真祐 氏	p.8
ご案内	あじさいな人々／編集後記	p.10

### 現在の運用状況

- 患者登録数： 159,469 名
- 会員数： 1,894 名
- 情報閲覧施設数： 370 施設
- 情報提供病院数： 38 施設

(令和4年12月22日現在)

### 賛助会員

- ◆ 日本電気株式会社 医療ソリューション事業部
- ◆ 株式会社LSIメディアエンス
- ◆ 株式会社NTTデータ中国
- ◆ 富士通 Japan 株式会社 長崎支店
- ◆ 株式会社インテグリティ・ヘルスケア
- ◆ 東七株式会社
- ◆ ノバルティス ファーマ株式会社
- ◆ 株式会社エスアールエル



特定非営利活動法人  
長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会（あじさいネット）

事務局：〒852-8532 長崎県長崎市茂里町3番27号（長崎県医師会内）  
TEL. 095-844-1111 FAX. 095-844-1110 Eメール：aj-na@nagasaki.med.or.jp



# 年頭所感

## あじさいネット継続には、

## 若い世代の力が必要

特定非営利活動法人  
長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会

会長 森崎 正幸 先生

【もりさき まさゆき】

昭和五十一年 長崎大学医学部を卒業。長崎大学産婦人科、健保諫早病院（現諫早総合病院）、北九州立八幡病院など県内外の病院勤務を経て、昭和五十八年 島原マタニティクリニック（現島原マタニティ病院）を開業（共同経営）。島原マタニティ病院を退職後、昭和六十三年「宝マタニティクリニック」開院。長崎県医師会会長。



### 様々な場面で活躍しているが、世代交代と会員拡充が今後の課題

昨年度のあじさいネットは、民間企業との提携を行うなど、地域医療情報ネットワークとして部門部門で活躍しています。ただ、半ば順調かと思う反面、新規の施設会員入会数が伸びずやんでいるところが、引き続き、今年度の課題であります。あじさいネット誕生時から支えてこられた大村市の先生方、あじさいネットのヘビーユーザーの会員様方のおかげでここまで来れていますが、今後も継続させるには、やはり若い人達にもっと使って頂くよう底辺を広げたいと思っております。これほど個人情報に対するセキュリティがしっかりしたツールはありませんし、あじさいネットは医療デバイスとして宝物です。次のステップとして、様々な診療科の方々に入会いただくよう、あじさいネット拡充プロジェクト室や若い世代の先生方に活躍していただき、更に会員拡充を目指し

ていければと思っております。

### 特定の患者様には「オンライン診療（Yadoc）」の利用も可能

長崎県医師会といたしましては、対面診療を基本としておりますので、初診は少なくとも対面でお願いをしております。ただし特殊な疾患をお持ちの方や、あるいは離島・へき地などの距離的な面で診療に支障をきたす患者様におきましては、オンライン診療を利用させていただく事も有効だと思っておりますし、コロナ禍や災害時の受診困難時には、さらには有効ではないかと思っております。これらを、どのような形で会員様に勧めていくのか、一方で、オンライン診療でどのような弊害に注意しなければならぬのかということも、我々は今一度考えて対応を行っていくかなければと思っております。あじさいネットの会員であればオンライン診療・疾病管理システム「Yadoc」を安価で利用する事が可能です。是非、ご検討下さい。

### 「すくすく」をもっと有効に活用する

ご存じのように、医療業界において、産婦人科医は減少傾向にある事が大きな問題となっております。その中でも分娩を取り扱う医師の数が減少傾向にあるのです。産婦人科での分娩を取り扱う医師が減少しているという事は、今後、都道府県の中核となる「総合周産期母子医療センター」や地域の中核となる「地域周産期母子医療センター」の医師の数も減少していく可能性があります。病診連携にて他の分娩を取り扱う施設との連携を密に行っていない限り、ある程度のレベルの周産期を賄う事は難しくなっています。そこに一つのツールとしてあじさいネットの周産期医療支援システム「すくすく」が非常に有効になってくるのではないのでしょうか。「すくすく」を使えば、緊急の母体搬送時でも、紹介先の病院での妊婦様の出産後の母体の状態も分かります。長崎市内では周産期センターである長崎大学病院や長崎みなとメディカルセンターがこの「すくすく」を活用しております。しかし県北地域の利用が乏しい状況です。今後の課題の一つとして、あじさいネットの「すくすく」について理解が深い先生方を中心に、更に広めていただきたいと思います。

### コロナ第8波に備えてのあじさいネットの活用

コロナウイルス第8波は、確実に訪れます。第8波が到来した際、まずはコロナ禍で最もリ

スクが高いとされる高齢者や基礎疾患のある方々にあじさいネットを活用してほしいと思っています。このような方々はかかりつけ医を持つていらつしやいますので、かかりつけ医へしっかりと受診していただき、そこでその診療情報を、あじさいネットで情報提供病院と共有すれば、入院時にスムーズな対応が出来るようになります。また、若い方々や基礎疾患を持つていらつしやらない方々にとっては、感染が拡大し、パンデミックが起こってしまった際には自宅療養という事になります。そのような場合、Yadocを利用してオンライン診療を活用しても良いでしょう。急変時にも対応出来る形を、しっかりとあじさいネットで作っていただければと思っております。

### 本年4月から義務化されるオンライン資格確認について

DX（デジタルトランスフォーメーション）というのはまさに日本の流れであり、世界の流れでもあります。世界の中で日本は後進国ですからこのデジタル化については、日本医師会と共に長崎県医師会も積極的に推進しようと、若手の先生方にも参加していただき、委員会を足中でございます。医療DXの基盤となるこのオンライン資格確認は、保険証を無くすというのが目的ではなく、患者様の医療情報を有効活用し、より良い医療を提供していく事が一番大切だと思っております。あじさいネット情報にこれらの情報が加わることで、長崎県の医療の質がさらに向上することを期待します。是非皆様に理解を深めていただき、負担を減らしてオンライン資格確認が利用出来る設備を用意していただけるよう、我々も様々な先生方に普及を啓発しているところでです。

### 家庭用バイタルデバイス貸与事業への期待

昨年度から、あじさいネットの新事業として「家庭用バイタルデバイス貸与事業」を準備してきました。本事業では、コロナ禍で注目されたパルスオキシメーターなどの家庭用バイタルデバイス機器を患者様へ貸し出す事で、自宅での体温、脈拍、血圧、体重、体組織、酸素飽和度などを病院で時系列に把握できるようにいたします。医療というのは、治療から予防、そして健康づくりへと変わってきております。今後しっかりとそれらのデータが、予防や健康づくりへと活かされればと思っております。

（取材日：2022年11月10日）

《賛助会員様広告欄》



## Healthcare for You

私たちエスアールエルは、医療機関から預かる、患者さまの検体を通して、いのちの未来を見つめています。



H.U. フロンティア

2020年10月1日、エスアールエル、富士レリオ、日本ステリの営業機能がひとつになり、H.U.グループの営業統合会社「H.U.フロンティア株式会社」がスタートしました。

株式会社 エスアールエル 本社 〒163-0409 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング TEL.03-6279-0900 www.sril-group.co.jp

# 日本初、病院の電子カルテ端末上でYaDoc使用を実現へ 新たな医療提供の可能性を確信

井上病院 院長 <sup>よしみね ひろゆき</sup> 吉嶺 裕之 先生



平成28年  
あじさいネット  
入会

## 2018年インターネットの環境でYaDocを始める

2019年末に新型コロナウイルス感染症が新興感染症として出てくる事は世界中の誰も予測していなかったと思いますが、超高齢社会及び人口オーナス社会がやってくる事は人口動態から確実な事となっております。特に日本の中でもワースト1、2を争うほどの人口流出がある長崎県においてはすでに医療従事者の確保が困難になってきており、またスマートフォンなどのデジタルデバイスの急速な普及もあり、ICTを活用した医療提供の効率化、医療従事者のみならず医療を受ける方においても生産性の向上が不可欠になると予想していました。2018年当時すでに国内にはいくつかのオンライン診療システムがありますが、YaDocはバイタルや生活情報などのモニタリングが可能であり、診療と診療の間の生活情報を閲覧する事で診療の質向上

に繋がると思い、院内のネットワークに繋がったパソコンで利用していました。

## あじさいネットのVPN環境でYaDocを院内に展開

2021年4月にはあじさいネットの主サーバーがあるNTTデータ中国のデータセンターとYaDocのサーバーがあるデータセンター同士が連携したため、日本で初めて病院の電子カルテ端末上からYaDocが使用できるようになりました。一般的にはクラウドの医療機関の情報システムと、外部に開かれたシステムの連携はありえないと思われがちですが、この仕組は堅牢なシステム内での連携ですのでむしろ万全なセキュリティのもと安定した利用が可能となっております。

## 医師、看護師、管理栄養士、臨床検査技師、セラピスト、事務員などほとんどの職種でYaDocの活用を実現中

当院においては外来28台の端末の内、9台の端末にてYaDocが利用できるように整備をしましたが、その導入作業も比較的簡単でした。利用職種は医師、看護師、管理栄養士、臨床検査技師、セラピスト、事務員などほとんどの職種が使用可能です。YaDocには大きく二つの機能があります。一つは画面越しにリアルタイムにコミュニケーションをとるビデオチャット機能です。もう一つは患者が入力した体重や血圧などのバイタルや症状など Personal Health Record (PHR) を閲覧できる機能です。当院の医師の中でも利用者はまだまだ限定的です

が、COPD治療を行っている睡眠時無呼吸や維持治療を受けている炎症性腸疾患の再診患者を中心に、対面診療の補完としてオンライン診療を行っています。最初は殆どの患者が戸惑いながら始めますが、診療前には必ずサポーターによる事前通信テストを行っているのですが、診察前には必ずサポーターによる事前通信テストを行っているのですぐに慣れます。超高齢者であっても家族や施設看護師がYaDocを使用するので問題なく対応できています。採血が必要な生活習慣病患者は診察前日までに採血に来てもらい、オンラインで説明することもあります。処方箋は指定の薬局にFaxすれば良いですし、クレジット決済が可能です。多忙なビジネスパーソン、コロナ感染リスクのために病院受診を控えた方、移動が大変な高齢者に大変好評です。もちろん症状増悪時などはケースバイケースで対面診療に切り変えます。

食習慣に問題がある生活習慣病を有する患者に対しては食事の写真やYaDocにアップロードしてもらい、管理栄養士がこの食事記録を踏まえた上で栄養指導をしています(詳しくは本号の寄稿文4ページを参照)。理学療法士はYaDocを活用した遠隔リハビリテーションの実証検証を、看護師はPHRを活用しテレナーシングを開始しています。いずれもまだ始まったばかりで現在は院内の運用ルールの整備などを行っている段階ですが、今後オンライン診療システムを活用することで、診療の質を向上させ新たなスタイルの医療提供が可能になる事を確信しています。

井上病院 TEL. 095-844-1281 FAX. 095-849-6622 Email: yoshimine@shunkaikai.jp

《賛助会員様広告欄》

ヘルスケアの未来を変えていく。

 **株式会社SSIメディエンス**

臨床検査 / 健康診断サポート / 診断薬・機器 / 創業支援 / 環境リスク評価 / 食の安全サポート / ドーピング検査

〒101-8517 東京都千代田区内神田一丁目13番4号





# YaDocでの オンライン栄養指導の実際

井上病院 法人統括栄養科科长 管理栄養士 ひらかわ 平川 くみこ 久美子 氏

外来栄養指導料が見直され  
算定が可能になり  
本番さながらの演習で  
2020年12月本格稼働

新型コロナウイルス感染症の流行により急速にデジタル化が進展しました。スマートフォンなどの情報通信機器を介して、診察や薬の処方を受ける事ができる新しい診療形式が浸透し、外来通院で治療を続けることが困難だった患者様も保険診療の利用が可能となりました。2020年の診療報酬改定では、外来栄養指導料が見直され、2回目以降の栄養指導に「情報通信機器を使用する場合180点」が新設、2022年の改定では、「初回235点」の算定が可能となりました。

2020年4月、院長よりYaDocアプリ活用での栄養指導の



令和2年  
あじさいネット  
入会

提案があり、栄養士全員がアプリをインストールしました。患者側として体重、歩数、食事記録を入力し、医師側からの見え方を確認し、次にインテグリティ・ヘルスケア社の方々の模擬患者とし、実生活の食事写真を記録して頂き、YaDocでのコメントのやり取り、指導日時の調整、予約の入力を行いました。患者側には、全体の記録が見えない為、食事写真の1日分のカロリーを計算した資料を作成。オンライン指導時に資料の見え方や文字の大きさ、見せる位置の確認、挨拶から世間話、指導に移るタイミングを、本番さながらに演習しました。7カ月の練習を経て、2020年12月本格稼働となりました。

## 実際のYaDocでの 栄養指導

オンライン栄養指導対象者は、「①生活習慣病の病名があり、栄養指導による改善が見込める。②YaDocをインストールし、体重・食事写真記録を継続できる。」を条件とし、初回介入時は、生活背景、食事内容、問題点、目標設定を明確にするために対面指導を原則としました。栄養指導の予約日一週間前に記録を確認、メールにてコメントを送信します。例えば、「記録ありがとうございます。一日だけ3食の記録はできましか？全体量で大まかなカロリーが計算できるので宜しく願います。」と負担にならないメール

を送る事を心掛けています。画像では、重さや調理法の情報入手が難しい面もあるので、対面時に具体的に聞き取りを行います。その後、患者様の目標に併せた入力項目を相談し、行動目標を設定します。後は、対面、オンラインを選択して頂き、栄養指導を継続します。開始から1年半で、介入53名のうち（終了も含む）、オンライン指導は17名となりました。

## 今後は対象疾患が増え、 栄養士の需要拡大が 予想される

YaDoc活用のメリットは、生活習慣と食事の関連性が媒体として確認できる点だと思います。更に「写真を撮る↓入力する↓定期的にメールがくる↓やる気が出る」の連鎖が、食事療法への意識の高まり、行動変容、取り組みの継続に繋がっていると考えます。新しい試みとして、クリニックからの栄養指導を受け付けています。オンライン栄養指導は、「生活習慣病で治療中。食事療法は必要だが、仕事が忙しく栄養指導が受けられない。」という患者のニーズに合った医療手段と成り得ます。嚥下困難による低栄養、化学療法による食欲不振等、ますます対象疾患が増えることが予測されます。今後、栄養士の需要拡大のキーになっていくのではないかと期待します。

井上病院 TEL. 095-844-1281 FAX. 095-849-6622 Email: hirakawa@shunkaikai.jp

《賛助会員様広告欄》

NTT DATA



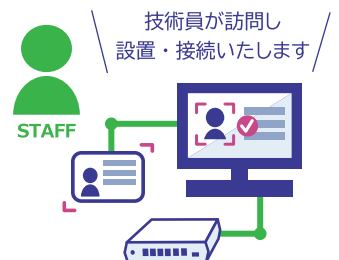
あじさいネット会員様向け  
Wi-Fi 接続でもオンライン資格確認

医療情報化  
支援基金対象  
(補助金)

オンライン資格確認 は NTT データ中国の「おまかせパック」をご利用ください

オンライン資格確認接続サービスは  
Wi-Fi 接続でもご利用可能です

おまかせパックをお申し込みで  
WiFi 機器をプレゼント中!



NTT データ中国「オンライン資格確認」接続サービス推進事務局  
お電話: 082-567-4810 メール: onshi@its-center.net



# あじさいネット説明同意書の送付先一覧

AJISAI NET

見やすいところに貼ってご利用いただくと便利です

(2023年1月現在：情報提供病院 38 施設)

	医療機関名・受付時間 (日曜・祝日は全施設受付なし)	FAX 番号	電話番号
県央・佐賀・島原	国立病院機構 長崎医療センター 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0120-731-063	0120-731-062
	市立大村市民病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-378-375	0957-52-1800
	国立病院機構 長崎川棚医療センター 地域医療支援センター (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-82-2970	0956-82-3121
	諫早総合病院 医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0120-1388-35	0957-22-1380
	貞松病院 地域医療連携室 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	0957-54-1165	0957-54-1161
	愛野記念病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0957-36-7072	0957-36-3950
	諫早記念病院 医療連携室 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	0957-22-2903	0957-22-0370
	日赤長崎原爆諫早病院 医療連携室 (平日 8:30-16:30 土 受付なし)	0957-43-2870	0957-43-2111
	南野病院 地域医療連携室 (平日 9:30-16:30 土 受付なし)	0957-54-8752	0957-47-5200
	宮崎病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0957-25-7053	0957-25-4800
五島・杵岐・対馬	国立病院機構 嬉野医療センター 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-473-489	0954-43-1213
	長崎県島原病院 地域医療支援センター (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	0957-63-6544	0957-63-1145
	長崎県上五島病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0959-52-8150	0959-52-3000
	長崎県五島中央病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0959-75-0657	0959-72-3181
	長崎県杵岐病院 地域包括健康増進センター (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0920-47-1136	0920-47-1135
	光武内科循環器科病院 地域連携課 (平日 9:00-16:30 土 受付なし)	0920-48-1655	0920-47-0023
	長崎県対馬病院 地域連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0120-765-191	0920-54-7172

《賛助会員様広告欄》



新しい発想で医療に貢献します

 NOVARTIS

ノバルティス ファーマ株式会社

<http://www.novartis.co.jp/>



# あじさいネット説明同意書の送付先一覧

AJISAI NET

見やすいところに貼ってご利用いただくと便利です

(2023年1月現在: 情報提供病院 38 施設)

	医療機関名・受付時間 (日曜・祝日は全施設受付なし)	FAX 番号	電話番号
長崎 地 域	光晴会病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 8:30-12:00)	0120-573-632	095-857-3563
	十善会病院 地域連携室 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	095-801-2590	095-801-2599
	長崎大学病院 地域医療連携センター (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	095-819-7305	095-819-7930
	長崎みなとメディカルセンター 患者総合支援センター (平日 8:45-17:00 土 受付なし)	095-821-1116	095-822-3251
	日赤長崎原爆病院 病診連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0120-845-262	0120-845-261
	済生会長崎病院 地域医療連携センター (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	095-827-7025	095-827-7021
	聖フランシスコ病院 地域連携科 (平日 9:00-17:00 土 9:00-12:00)	095-845-7600	095-846-2553
	井上病院 地域連携室 (平日 9:00-17:00 土 9:00-12:00)	095-849-6622	095-844-1281
	長崎記念病院 地域連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	095-871-1510	095-871-1515
	長崎北病院 診療録管理室 (平日 9:00-17:00 土 9:00-12:00)	095-886-8707	095-886-8700
	虹が丘病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:00 土 8:30-12:30)	095-856-1102	095-856-1112
	上戸町病院 地域連携室 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	095-832-5616	095-832-5615
	国立病院機構 長崎病院 地域医療連携室 (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	095-808-0176	095-824-2788
	重工記念長崎病院 地域連携・入退院支援センター (平日 8:30-17:00 土 8:30-11:30) ※ 第2・第4土曜のみ受付	095-801-5520	095-801-5517
	長崎北徳洲会病院 医局 (平日 9:00-17:00 土 受付なし)	095-813-5862	095-813-5861
長崎百合野病院 地域連携室 (平日 8:30-17:00 土 8:30-12:00)	0120-857-057	095-857-3366	
県 北	佐世保市総合医療センター 地域連携センター (平日 8:30-17:15 土 受付なし)	0956-24-0474	0956-24-1515
	佐世保中央病院 地域医療連携センター (平日 8:30-17:30 土 8:30-12:00)	0800-7000-070	0120-33-8293
	佐世保共済病院 医療連携室 (平日 8:30-17:30 土 受付なし)	0120-12-2067	0956-22-5136
	長崎労災病院 地域医療連携室 (平日 8:15-17:00 土 受付なし)	0120-666-437	0956-49-2191
	青洲会病院 地域連携室 (平日 8:30-17:00 土 受付なし)	0950-57-2151	0950-57-2161



# 遺伝カウンセリングにおける オンライン診療

長崎大学病院 産婦人科 助教 <sup>みうら</sup>三浦 <sup>しよこ</sup>生子 先生



令和3年  
あじさいネット  
入会

## コロナ禍、個室での カウンセリングに 妊婦さんのリスクを考慮

長崎大学病院に「遺伝カウンセリング部門」があるのをご存知でしょうか。常駐しているスタッフは看護師2名（うち1名は認定遺伝カウンセラー<sup>®</sup>）、事務1名の3名ですが、遺伝に関する様々な相談に対し、産婦人科、小児科、外科、内科と幅広い診療科の臨床遺伝専門医と認定遺伝カウンセラー<sup>®</sup>が対応しています。

その中で最も件数が多いのは出生前診断についてのカウンセリングで、年間約85件行なっています。高齢妊娠が増加していることや長崎大学病院が母体血による胎児染色体検査（NIPIT）の基幹施設であることが理由の一つに挙げられます。通常のカウンセリングでは、出生前診断を希望される妊婦とパートナー（クライエント）に来院いただき、臨床遺伝専門医または認定遺伝カウンセラー<sup>®</sup>による1時間程度のカウン

セリングを行いません。受検を希望されると、検査後の結果説明も15分から1時間程度行います。遺伝カウンセリングは、個室で、対面での会話です。診察や検査はありません。コロナ禍において、妊婦が何度も大学病院に足を運ばなくてはいけないこと、対面で約1時間の会話をするということは、妊婦にとってはもろろんのこと、医療者にとっても感染のリスクが高くなります。

## 実際のオンライン診療の 流れ

そこで、2021年6月より「オンライン診療」を取り入れることになりました。オンライン診療には、あじさいネットでのオンライン診療・疾病管理システム「YaDoc」を使用しています。初診からオンライン診療を行うために、医事課の方とカウンセリング室スタッフとでミーティングを重ね、オンライン診療の初診予約が入ったら、①医事課から電話でYaDocをインストールしていたら、②YaDocで保険証確認を行う、③当日は予約時間の30分前までにテスト通話を行って接続を確認していただく、④カウンセリング室から事前にカウンセリングに必要な資料をクライエントへ郵送しておく、という流れを決めました。

クライエントにとっては、時間的、身体的負担が軽減されるといふ点でオンライン診療のメリットは大きいと思います。NIPITを施行できる施設が県下で大学病院のみ（2022年9月現在）であるため、離島からでも大学病院まで来院せざるを得なかったのですが、オンラインであれば天候に左右されることもなく、つわりで体

調がすぐれなくても、切迫流産で安静を指示されている場合でも、カウンセリングを受けることが可能になります。

## オンライン診療の課題と クライエントに寄り添う カウンセリングを目指して

これまで、26件のオンライン診療を行いましたが、そのうち24例が出生前診断に関わるものです。クライエントの表情や雰囲気は、想像していたより伝わりやすいと感じていますが、医療者としては、「オンラインは疲れる」印象です。手元に同じ資料を持ってはいても、「このプリントのこの図を見てください」などとカメラの前に資料を掲げて説明したり、聞こえやすいように声を張ってゆっくり話したりする必要があるので、将来的には、Zoomのように画面上で資料を共有することができると、クライエント、医療者双方にとってカウンセリングが楽になりますし、多地点をつなぐことができるようになります。妊婦とパートナーが別々の場所にいると同時にカウンセリングを受けることができ、一層利便性が高まると思います。

遺伝カウンセリングは一般診療と比較して、オンライン診療に適していると思われませんが、対面であれば伝わりにくい感情や話にくい事柄もあります。オンライン診療においては、画面の向こうのクライエントがどう感じているのか、何を思っているのか常に想像しながら、クライエントの気持ちに寄り添ったカウンセリングをより一層心がけなければならぬと思っています。

長崎大学病院 遺伝カウンセリング部門 TEL. 095-819-7548 FAX. 095-819-7548

《賛助会員様広告欄》

東七は「健康」をテーマに、医薬品の安定供給と医療機器販売、介護サービス支援を通じて、地域医療の発展に貢献する『総合ヘルス・コーポレーション』を目指しています。

2021年 東七は、創業115周年を迎えました。

～Since1906～



本社所在地 〒857-0192 長崎県佐世保市瀬戸越4丁目1318-1 TEL 0956-41-0777 介護サービス 0956-37-6000

# 5つの質問

# あじさいネットの KEY PERSON に聞く



代表取締役会長 武藤 真祐 氏

## 株式会社インテグリティ・ヘルスケア

株式会社インテグリティ・ヘルスケアは、人とテクノロジーの融合で、医療の未来をつくることを目指したメディカルテック企業です。ICTの先端技術と医療ノウハウを組み合わせ、全ての人が安心して暮らせる社会の実現に取り組んでいます。

### オンライン診療システム YaDoc (ヤードック) について

YaDocは、患者様の状態を医療機関と共有して可視化することで、適切な治療を施すことができるオンライン疾患管理・オンライン診療システムです。特徴は3つあり、1つは会議システムのようビデオ対話ができるだけでなく、診察の予約や保険証などの共有、決済など診療に必要な機能がシームレスにつながっています。2つ目は、モニタリング機能です。例えば、患者様の血圧や脈拍、呼吸数、体温、血糖値など日常のデータをモニタリングして医師と共有できます。医師には見えなかった部分がデータとして把握することができ、Apple Watchを使って患者様のデータを把握し、臨床に生かすことも試みています。最後の3つ目は、地域医療連携で、あじさいネットと連携しています。患者様のデータを地域の医療従事者と共有することができ、例えばセカンドオピニオンでの診療方法の相談や栄養士による食事指導などを地域単位で行うことができます。

また、YaDocは患者様が

オンライン診療のアプリに登録している複数の医療機関から検索を行う形とは異なり、かかりつけ医が患者様へオンライン診療を案内して繋がる仕組みであり、地域密着型医療の概念にマッチします。

### あじさいネット・YaDoc を利用している 病院からの声は？

多くの医療機関でYaDocを導入していただいております。嬉しく思っています。医療機関からは、患者様の状態が把握でき、スムーズな診療に繋がっていると感じますし、患者様からは、通院の負担が軽減されることやコロナ禍での感染予防になるとのお声をいただいております。

### 株式会社インテグリティ・ヘルスケアからみた あじさいネットは どのように感じますか？

あじさいネットは、全国最大規模、かつ会費で運営されている稀有な地域医療情報連携ネットワークです。まもなく20年を迎えられ、日ごろから関係者の皆様方のご尽力に感動しております。引き続き日本のロールモデルとしてさらなる発展を願っております。

### あじさいネットに今後 期待する事はありますか？

今年4月には、呼吸器と循環器の疾患を持つ患者様にデジタルを使用した治療環境の改善に向けた新たな協定を結びました。YaDocを通じて、患者様の問診やバイタルデータの取得ができますが、この協定により今年7月に喘息吸入薬の服薬状況のデータも取得できるようになりました。

今後も、関心を寄せてくださる先生方とともに、患者様の状態に合わせた疾患管理に取り組んでいきたいと思っております。

### 長崎へ来られる際に必ず 行く場所やお店は ありますか？

長崎大病院の先生方に何度か「浜ちゃん」にご一緒させていただきました。一見焼肉屋さんなのですが、大将が釣った新鮮な魚料理もあり、長崎県の地元の料理を楽しめるお店で、お気に入りです。5月に行った際には、店主が釣ってきた魚を食べ、とても美味しかったです。



《賛助会員様広告欄》

「つなぐ医療」から、  
「支える医療」へ。



shaping tomorrow with you  
社会とお客様の豊かな未来のために



## 富士通は、医療の未来をカタチにしていきます。

地域医療ネットワークの整備が進むなか、富士通は、地域と住民を「支える医療」にいち早く着手。災害時の事業継続、ビッグデータによる個別化医療、創薬の加速化をサポートします。

### HumanBridge EHRソリューション

製品・サービスについてのお問い合わせは  
富士通コンタクトライン (総合窓口) 0120-933-200 (受付時間 9:00~17:30 土・日・祝日・年末年始を除く)  
<http://jp.fujitsu.com/solutions/medical/products/humanbridge/>



# あじさいネット会員さま向け オンライン診療・疾患管理システムのご案内

## オンライン診療・疾患管理システムYaDoc

あじさいネット会員さま向けに  
特別価格で提供いたします

### 3つの機能

- 1 モニタリング機能**  
患者さんとの普段の生活状態を継続的に捉える
- 2 オンライン問診機能**  
診察前の問診入力でコミュニケーションの効率化
- 3 オンライン診察機能**  
診察を予約、医師と患者間でビデオ診察を実施



個別面談  
実施中!

お申込みはこちら ▶

YaDoc オンライン面談

検索

[www.yadoc.jp/contact/medical/video/](http://www.yadoc.jp/contact/medical/video/)

導入前も導入後も、操作方法の説明から利用方法まで、オンライン診療に関する様々な疑問や利用アイデアをご相談いただいております。まずはWeb面談をお気軽にご利用ください。



## ご利用お申込み

あじさいネット公式HPに詳細を掲載しております。ご確認をお願い致します。

[http://www.ajisai-net.org/ajisai/02\\_member/05\\_onlineshinryou.html](http://www.ajisai-net.org/ajisai/02_member/05_onlineshinryou.html)

あじさいネット公式HPのトップページより、  
「YaDocあじさいネットでオンライン診療」バナーをクリック。

## あじさいネット会員向け価格

通常  
価格

初期費用無料\*、月額利用料 **30,000**円(税抜)  
\*クリニックの場合

		医師アカウント数	初期費用	月額利用料(税抜)
クリニック		3アカウント(追加可)	無料	10,000円
病院	エントリー	3アカウント(固定)	無料	10,000円
	スタンダード	10アカウント(追加可)	無料	30,000円
医師アカウント追加(クリニック・病院スタンダードが必要です)			無料	無料

診療科別の運用にも対応するための登録施設追加のオプション等もございます。  
ご希望の運用に合わせ、最適なプランをご案内いたしますので、オンライン面談にてご相談ください。





あじさいネットの救急や時間外での利用

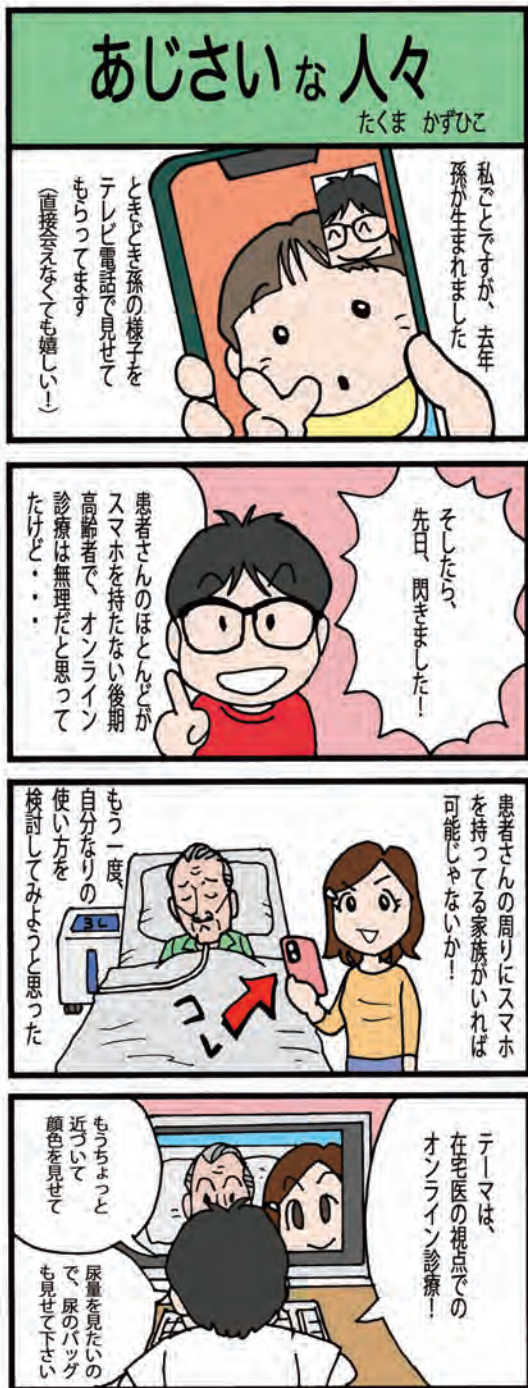
あじさいネットOFF LINE通信 編集長 松本 武浩

今年度のあじさいネット総会に向け、年間の活動状況をまとめていたところ、「アクセス権時間外代行登録」の1年間の利用が200件を超えていました。これは、あじさいネットの救急医療での活用のために、日中、情報提供病院に送る同意書を時間外の夜間や土日祝祭日には、本業務を委託した窓口にはFAXすれば利用できるもので、昨年度は68件でしたから3倍に増えたことになります。

一方、離島医療の支援のための救急画像支援システムは、長崎県の事業として

1990年から継続していますが、2012年からは、あじさいネットの暗号化ネットワーク上で運用しております。昨年、本システム運用管理強化のために協議会が発足し、かねてより要望があった本システムの地域での利用がスタートしました。これを離島・へき地以外での利用の意味を込めて「二次活用」と呼んでおります。利用方法は、本システムを利用し救急時にいち早く画像を取り込むことで、救急車搬入前に治療方針を決定したり、脳卒中疑いの患者のtPA適応を

迅速に判断したり、院外の放射線専門医に遠隔診断支援してもらうなど、多彩な利用法が提案されています。あじさいネットのVPN経由で接続するiPadでDICOM画像が確認できる点もメリットです。救急医療での情報提供病院のカルテ閲覧、救急画像の場所を選ばない閲覧と専門医等によるサポートが活発化することで、あじさいネットの価値はさらに高まるものと期待されます。



漫画制作：たくま医院 院長 詫摩和彦先生 (長崎市医師会所属 / 長崎在宅Dr.ネット 副理事長)

\*ご感想は、あじさいネット事務局 [aj-na@nagasaki.med.or.jp] までお願いいたします。



**NEC**

**Orchestrating a brighter world**

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。